



2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2025年8月14日

上場会社名 株式会社アルファポリス

上場取引所 東

コード番号 9467 URL <https://www.alphapolis.co.jp/company/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 雄介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部本部長 (氏名) 大久保 明道

TEL 03-6277-0123

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,582	16.5	764	7.2	767	7.3	475	7.3
2025年3月期第1四半期	3,076	27.0	713	36.2	715	36.1	443	36.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	16.37	—
2025年3月期第1四半期	15.26	—

(注)1. 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	16,271	13,777	84.7
2025年3月期	16,891	13,708	81.2

(参考)自己資本 2026年3月期第1四半期 13,777百万円 2025年3月期 13,708百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		0.00	—	24.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	17.5	3,700	14.8	3,710	14.6	2,300	13.9	79.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	29,062,200 株	2025年3月期	29,062,200 株
期末自己株式数	2026年3月期1Q	996 株	2025年3月期	957 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	29,061,204 株	2025年3月期1Q	29,061,390 株

(注) 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間(2025年4月1日から2025年6月30日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で緩やかな回復が続いているものの、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響や米国の通商政策の影響等が我が国の景気を下押しするリスクとなっており、また、金融資本市場の変動等の影響が懸念される等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属する出版業界におきましては、2025年上半年(1月から6月まで)の紙と電子を合算した出版市場(推定販売金額)は、前年同期比でマイナスとなりました。公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所によると、2025年上半年の紙と電子を合算した推定販売金額は前年同期比2.1%減の7,737億円となり、その内訳は、紙の出版物については同5.4%減の4,926億円、電子出版については同4.2%増の2,811億円と、紙の市場が前年同期を下回った一方で、電子出版市場の堅調な拡大が続いております。

こうした環境の中、インターネット発の出版の先駆者である当社は、「これまでのやり方や常識に全くとらわれず」、「良いもの面白いものが望まれるものを徹底的に追求していく」というミッションの下、インターネット時代の新しいエンターテインメントを創造することを目的とし、インターネット上で話題となっている小説・漫画等のコンテンツを書籍化する事業に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間における書籍のジャンル別の概況は以下の通りであります。

① ライトノベル

当第1四半期累計期間の刊行点数は前年同期を上回る92点(前年同期比15点増)となりました。各書籍の売れ行きにつきましては、『余りモノ異世界人の自由生活』等の人気シリーズの続刊や女性向け小説の新作タイトルが売上を牽引いたしました。また、電子書籍販売につきましては、2025年1月から大手電子ストアにおいて新たに開始した小説の1話単位の販売が引き続き好調に推移し、当ジャンルの売上を底上げいたしました。

結果、当第1四半期累計期間の売上高は前年同期を上回る着地となりました。

② 漫画

当第1四半期累計期間の刊行点数は44点(前年同期比1点減)となりました。各書籍の売れ行きにつきましては、2025年7月からアニメ放送を開始する『強くてニューサーガ』や2026年のアニメ化が決定した『自称悪役令嬢な婚約者の観察記録。』等の人気シリーズの続刊が好調に推移いたしました。また、漫画と親和性の高い電子書籍販売につきましては、引き続き販売体制の強化や拡販施策の推進に注力したことにより、前年同期と比べて販売数を大幅に伸ばすことができました。

結果、当第1四半期累計期間の売上高は前年同期を大幅に上回る着地となりました。

③ 文庫

当第1四半期累計期間の刊行点数は前年同期を上回る55点(前年同期比3点増)となりました。シリーズ累計150万部突破の『居酒屋ぼったくり』の著者による時代小説『きよのお江戸料理日記』の続刊が好調に推移し、売上を牽引いたしました。また、当社が開催するWebコンテンツ大賞の受賞作等から、様々なジャンルの書籍を多数刊行し、ジャンルの拡大にも積極的に取り組んでまいりました。

結果、当第1四半期累計期間の売上高は前年同期を上回る着地となりました。

④ その他

当第1四半期累計期間の刊行点数は1点(前年同期比1点減)となりました。第15回絵本・児童書大賞においてちょっとこわい絵本賞を受賞した絵本『たべていいよね』を刊行し、厳しい紙書籍の市場環境の中で堅調に推移する絵本市場の開拓に注力いたしました。

しかし、刊行点数が前年同期から減少したことにより、当第1四半期累計期間の売上高は前年同期を下回る着地となりました。

以上の活動の結果、当第1四半期累計期間の売上高は3,582,317千円(前年同期比16.5%増)、営業利益は764,720千円(同7.2%増)、経常利益は767,095千円(同7.3%増)、四半期純利益は475,598千円(同7.3%増)となりました。

(注) シリーズ累計部数：同作品の続編に加え、同作品の漫画及び文庫を含む。また部数は電子書籍販売数を含む。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産

当第1四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べ574,881千円減少し、15,478,219千円となりました。これは主に、売掛金が減少（前事業年度末比333,386千円減）したこと並びに現金及び預金が減少（同286,489千円減）したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ45,763千円減少し、792,931千円となりました。これは主に、投資その他の資産が減少（同41,499千円減）したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ682,207千円減少し、2,452,282千円となりました。これは主に、未払法人税等が減少（前事業年度末比558,639千円減）したこと、賞与引当金が減少（同66,521千円減）したこと並びに未払金が減少（同61,520千円減）したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ7,124千円減少し、41,729千円となりました。これは主に、長期借入金が減少（同6,663千円減）したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ68,686千円増加し、13,777,139千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が475,598千円増加した一方で、剰余金の配当により利益剰余金が406,857千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月15日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,567,271	11,280,782
売掛金	3,770,141	3,436,755
製品	362,171	347,342
仕掛品	292,940	335,015
その他	60,575	78,324
流動資産合計	16,053,100	15,478,219
固定資産		
有形固定資産	65,387	63,486
無形固定資産	11,728	9,364
投資その他の資産	761,579	720,080
固定資産合計	838,695	792,931
資産合計	16,891,795	16,271,151
負債の部		
流動負債		
買掛金	60,588	60,678
1年内返済予定の長期借入金	26,652	26,652
未払金	1,058,011	996,490
未払法人税等	867,104	308,465
賞与引当金	104,763	38,241
投稿インセンティブ引当金	21,966	23,334
返金負債	515,567	473,796
その他	479,836	524,621
流動負債合計	3,134,489	2,452,282
固定負債		
長期借入金	43,639	36,976
その他	5,214	4,753
固定負債合計	48,853	41,729
負債合計	3,183,343	2,494,011
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,824	863,824
資本剰余金	853,824	853,824
利益剰余金	11,991,588	12,060,330
自己株式	△785	△839
株主資本合計	13,708,452	13,777,139
純資産合計	13,708,452	13,777,139
負債純資産合計	16,891,795	16,271,151

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,076,099	3,582,317
売上原価	778,049	905,145
売上総利益	2,298,050	2,677,171
販売費及び一般管理費	1,584,368	1,912,451
営業利益	713,681	764,720
営業外収益		
受取利息	10	138
前払式支払手段失効益	1,574	2,304
その他	0	98
営業外収益合計	1,585	2,540
営業外費用		
支払利息	77	142
その他	—	24
営業外費用合計	77	166
経常利益	715,189	767,095
税引前四半期純利益	715,189	767,095
法人税等	271,771	291,496
四半期純利益	443,417	475,598

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社は、出版事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	8,129千円	7,677千円

(重要な後発事象)

(株式会社WHITE FOXの株式取得について)

当社は、2025年7月31日開催の取締役会において、株式会社WHITE FOXの全株式を取得し子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、全株式を取得いたしました。

なお、詳細につきましては、2025年7月31日に公表いたしました「株式会社WHITE FOXの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」をご参照ください。